

会派自民党再要望項目一覧

平成30年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 激甚災害制度の見直しについて 近年の我が国を取り巻く気象現象の変化に伴い、災害の発生件数は激増するとともに、より甚大な被害が発生しており、県内自治体の財政負担は増す一途を辿っている。 ついては、より強靱な県土づくりを図るとともに、財政難に苦しむ自治体の負担を軽減する観点から、激甚災害制度について、嵩上げる補助率の段階的な設定のほか、適用対象を単なる災害復旧事業ではなく、これに関連する箇所や防災・減災機能を強化する事業も対象とするなど、地域の実情に応じ、被災自治体に寄り添った制度となるよう、関係団体と緊密な連携を取りつつ、その実現に向けた具体の行動を行うこと。</p>	<p>激甚災害（本激）制度がより被災自治体の実情を踏まえたきめ細やかな制度となるよう、県内被災自治体とも連携を取りつつ、嵩上げる補助率の段階的な設定など、国に強く要望してまいりたい。また、関連する防災・減災機能を強化する事業への支援の充実についても国に強く働きかけてまいりたい。</p>
<p>2 指定管理候補者の選定基準に係る審査項目について 指定管理候補者の選定基準に係る審査項目には、ネーミングライツに係る提案が示されているが、当該項目の得点いかんによっては、審査順位に関わってくることもあり得る。 ついては、ネーミングライツに係る提案の評価について、慎重を期するとともに、公平性、納得性が得られる基準設定や運用とすること。</p>	<p>「ネーミングライツの提案」については、従来の「管理運営の考え方」、「サービス・事業の内容」、「管理経費の効率化」や「安定的な体制」などの指定管理候補者選定の審査項目に加え、施設の知名度向上、財源確保の観点から、今回の選定に当たり追加したものである。 また、審査項目や項目ごとの配点は、施設ごとに設置している指定管理者審査・運営評価委員会において施設の特性に考慮し定め、総合的に評価している。 ネーミングライツも含め、審査項目の基準設定や運用については、この度の審査の状況も踏まえ、より公平性、納得性が高まるよう引き続き検討していく。</p>